

研修・研究・会議費

小計 77,220 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

17,000
~~22,000~~

円

備考

24002

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
02-05-27	01145	A93110009
取扱店	マチダテン	
払込口座	00150-1 387628	
払込金額	*7,000	料金 *0

0	0	1	5	0	4	1	0	0	0
3 8 7 6 2 8									
一般社団法人 東京都 友達製									
7 0 0 0									

大西宣也

振替受付票
 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
 料金には、消費税等が含まれています。
 (ゆうちょ銀行)

入金額 *10,000
 おつり *3,000

スマホ決済アプリ ゆうちょPay
 口座の残高確認も 可能です！

印紙税申告納付につき麹町税務署承認済

24006

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
03-02-27	01057	A93390004
取扱店	ツルカワ	
払込口座	00150-6 900584	
払込金額	*10,000	料金 *0

0	0	1	5	0	6	9	0	0	5	8	4
郵便振替代行センター											
1 0 0 0 0											
大西 宣也 様											
No. 20370 2 19											
日本会議 振替											

振替受付票
 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
 料金には、消費税等が含まれています。
 (ゆうちょ銀行)

入金額 *10,000
 おつり *0

スマホ決済アプリ ゆうちょPay
 口座の残高確認も 可能です！

印紙税申告納付につき麹町税務署承認済

に貼る。

一般社団法人 東京郷友連盟

メニュー

TOP

更新履歴 (最新 5月25日)

●東京郷友連盟について
設立目的及び事業の概要

沿革
年度行事及び予定

通常総会
歴史防衛講座及び予定
防衛現地研修及び予定
英霊顕彰行事及び予定
歴史伝統継承助長行事
天皇誕生日奉祝行事
女性部活動

●入会案内
●ご意見、ご質問

〒160-0001
東京都新宿区片町3-3 壁装館402号室
TEL:03-3353-2342 FAX:03-3353-2341
Eメール: tokyo@goyuren.jp
ホームページ: http://tokyo.goyuren.jp/



入会資格

- 日本人であることを誇りに思う人
 - 日本の国防について学びたい人
 - 英霊及び殉職自衛隊員を慰霊・顕彰する人
 - 日本の歴史・伝統を大事にしたい人
(東京都以外に在住の方でも入会出来ます)
- 入会をご希望の方は、この事業をご案内ください。

160-0001

東京都新宿区片町3-3
壁装館402号室

皇室を尊び、我が国の歴史・伝統を大切にすることを養うために、「勉強会」や「各種の国民運動」に友(なかま)と語り合っ
て参加しましょう。



天皇誕生日奉祝 一般部



防衛研修所月見会



各野営隊奉祝行事

会員の皆様には、東京郷友連盟発行の機関誌「わたし達の防衛講座」(年1回)及び日本郷友連盟発行の「郷友」(隔月)をもれなくお送りしています。
*家族会員を除く。



機関誌

隔月刊誌「郷友」
日本郷友連盟発行

入会案内

会員の種類と年会費

- [1] 正会員: 7千円
会の趣旨に賛同して入会される個人または団体
- [2] 家族会員: 3千円
正会員と同住する家族で入会される方
- [3] 賛助会員: 1口2万円以上
会の趣旨に賛同し、その事業活動を賛助するため入会される個人または団体

入会申込書

該当番号 [1] [2] [3] に○印を付けてください。

- [1] 正会員
- [2] 家族会員
- [3] 賛助会員

日本会議 誇りある国づくりへ 国を愛する新しい国民運動ネットワーク

- ・ [サイトマップ](#)
- ・ [入会案内](#)
- ・ [お問合せ](#)
- ・ 小
- ・ 虫
- ・ 太

検索

- ・ [ホーム](#)
- ・ [日本会議とは](#)
- ・ [国民運動](#)
- ・ [オピニオン](#)
- ・ [入会案内](#)
- ・ [皆様の声](#)
- ・ [寄付案内](#)



日本会議 > 入会案内

入会のご案内

- STEP 1
- STEP 2
- STEP 3
- STEP 4
- STEP 5

入会申し込み ▶ お支払金額の確認 ▶ 会員情報入力 ▶ 会員情報確認 ▶ お支払い手続き

誇りある国づくりへ あなたの力を!!

誇りある国づくりのため、あなたも是非「日本会議」にご入会ください。ご入会いただくと、機関誌・月刊「日本の息吹」のご送付をはじめ、各種特典があります。

> [入会された方々の声](#)

日本会議会員制度のご案内

私ども日本会議は、元気で誇りある国づくりを目指して、超党派の国会議員懇談会のみなさんとともに、全国で国民運動を推進しています。

北は北海道から南は沖縄に至る都道府県に本部を持ち、10万人ネットワークづくりをめざしています。どうかこの機会に、私どもの国民運動にぜひご参加ください。*ご入会いただくと、機関誌・月刊『日本の息吹』のご送付をはじめ、各種特典などがあります。

会員種別と特典

	正会員	維持会員	篤志会員	議員会員	女性会員	支援会員
年 額	1万円	3万円	.10万円	1万円	5000円	3800円
メリット+	○	○	○	○	○	○
機関紙『日本の息吹』毎月送付	○	○	○	○	○	○

日本会議インフォメーション

憲法改正を推進しよう！ エコバッグできました！

この度、憲法改正運動を全力で応援する ゆるキャラ「かえるん♪」が誕生しました！
さあ、かえるん♪バッグを持って外に出かけましょう！

憲法かえる
日本よみがえる♪



かえるん♪

(使用時) 約 38×32×10 cm
(収納時) 約 13×11 cm
素材：不織布



まとめ買いがお得♪

10個以上 → 1個 500円 + 税
100個以上 → 1個 400円 + 税

かえる

5000円以上
送料無料

「憲法」はどうすれば良くなるのか、
具体的に提案する
書籍・DVDを販売する
ネットショップ

かえる・変える
kaerushop.thebase.in



定価：600円 + 税

ブックレットやグッズが買えるネットショップ
「かえる」がオープンしました！
コチラで、エコバッグも購入できます！

<http://kaerushop.thebase.in>

検索

本誌『日本の息吹』2月号 建国記念日特集号の特別ご提供

特別頒価 50部以上1部 160円 / 100部以上1部 140円 (50部未満1部 300円)

※送料…100部以上より全国一律500円 (100部未満は実費を頂戴します)

知人・友人に建国の理想を伝える資料として、各種行事の参加記念品としてご利用下さい。

お申込みは、日本会議事業センターまで **FAX 03-5428-3724** TEL03-5428-3723

誇りある国づくりへ 私達は行動します

ただいま会員募集中 日本会議の国民運動にご協力をお願いします！

《日本会議 綱領》

- 一、我々は、悠久の歴史に育まれた伝統と文化を継承し、健全なる国民精神の興隆を期す。
- 一、我々は、国の栄光と自主独立を保持し、国民各自がその所を得る豊かで秩序ある社会の建設をめざす。
- 一、我々は、人と自然の調和をはかり、相互の文化を尊重する共生共栄の世界の実現に寄与する。

会員種類 正会員(1万円) 維持会員(3万円) 篤志会員(10万円以上) 女性会員(5千円) 支援会員(3800円)
(年額) [正(女性)会員以上の方には、毎月の『日本の息吹』に加えて、会員証、メール情報などの特典がございます。]

HPからの入会はこちら

日本会議 検索

●ご入会希望の方は下記よりお申込み下さい。

FAX 03-3476-5612 <http://www.nipponkaigi.org>

※FAX、郵便でお申し込みの場合は
住所、氏名、電話番号を明記下さい。



領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	2,000	円	備考	
-----------	-----	-------	---	----	--

24008

領 収 書

大西 宣也 様

¥ 2, 0 0 0 —

但し、令和2年度小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会費として

令和2年5月22日 上記の金額正に領収いたしました

住 所 神奈川県相模原市中央区中央2丁目11番15号
氏 名 小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会 長 中 村 昌 治

- ※ 領収書は重ねて貼付しない。
- ※ 領収書が枠からはみ出す場合は別紙に貼る。

令和2年度

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

総 会

【 書 面 審 議 】

議 案

議案第1号 令和元年度活動報告について

議案第2号 令和元年度収支報告及び会計監査報告について

議案第3号 役員改選(案)について

議案第4号 令和2年度活動計画(案)について

議案第5号 令和2年度収支予算(案)について

議案第6号 決議(案)について

令和元年度 活動報告

月 日	活 動 内 容	備 考
4月24日	第1回役員会 ・平成31年度総会(案)について	
5月22日	総 会 ・平成30年度活動報告について ・平成30年度収支報告及び会計監査報告について ・役員を選任(案)について ・令和元年度活動計画(案)について ・令和元年度収支予算(案)について ・決議(案)について	【会 場】 愛川町文化会館
8月5日	臨時役員会 ・今後の活動方針について ・総会結果について ・要望活動(案)について	※町田市・相模原市の公表した小田急多摩線の延伸に関する調査検討結果を受けて、議員連盟の方針を諮るために臨時役員会を開催した。
10月23日	要望活動(国土交通省関東運輸局、小田急電鉄)	
10月28日	要望活動(東京都、神奈川県)	
2月4日	要望活動(国土交通省)	
2月10日	延伸ルート視察・研修会	
	第2回役員会 ・令和元年度要望活動結果について ・令和元年度収支報告(案)について ・令和2年度活動計画(案)、 及び収支予算(案)について ・令和2年度総会(案)について	

令和元年度 収支報告

1 収入

(単位：円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	摘要
1 会費	242,000	258,000	16,000	2,000円×129人 ※厚木市議選・愛川町選挙後に 新たに加入した議員8名を含む
2 繰越金	87,051	87,051	0	
3 諸収入	949	0	△949	
計	330,000	345,051	15,051	

2 支出

(単位：円)

科目	予算額 (A)	支出済額 (B)	増減額 (A-B)	摘要
1 事業推進費	300,000	272,600	27,400	
(1)会議費	100,000	103,595	△3,595	総会、及び役員会 経費等(会場費用他)
(2)活動費	200,000	169,005	30,995	要望活動、及び研修会 経費等(会場費用他)
2 事務費	25,000	26,989	△1,989	総会で使用する 名札ケース代
3 予備費	5,000	0	5,000	
計	330,000	299,589	30,411	会議費・事務費の 不足分は他の科目 から流用した

3 差引

収入済額 支出済額 残額(繰越金)
 345,051円 - 299,589円 = 45,462円

令和2年度へ繰越し 45,462円

会計監査報告書

本議員連盟の令和元年度収支決算について、出納簿、証拠書類等を
監査したところ、適正に執行されていると認めます。

令和 2 年 4 月 22 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

監 査 森 繁 之



監 査 石 井 芳 隆



役員の変更（案）

新役員			現役員	
役職	職名	氏名	職名	氏名
理事	町田市議会議員	藤田 学	町田市議会議員	三遊亭 らん丈
理事	相模原市議会副議長	森 繁之	相模原市議会議員	須田 毅
理事	相模原市議会議員	松永 千賀子	相模原市議会議員	小野 弘
監査	相模原市議会議員	小野 弘	相模原市議会副議長	森 繁之
事務局	町田市議会議員	三遊亭 らん丈	町田市議会議員	藤田 学

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則（抄）

（役員）

第5条

- 2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

改選後の役員一覧（案）

役 職	職 名	氏 名
会 長	相模原市議会議員	中 村 昌 治
会長代行	町田市議会議員	長 村 敏 明
副会長	町田市議会議員	佐 藤 伸一郎
副会長	相模原市議会議員	大 沢 洋 子
副会長	厚木市議会議員	松 田 則 康
副会長	愛川町議会議長	馬 場 司
副会長	清川村議会議長	岩 澤 敏 雄
理 事	町田市議会議長	熊 沢 礼 里
理 事	町田市議会議員	藤 田 学
理 事	町田市議会議員	山 下 哲 也
理 事	町田市議会議員	佐 藤 和 彦
理 事	相模原市議会議長	石 川 将 誠
理 事	相模原市議会副議長	森 繁 之
理 事	相模原市議会議員	松 永 千賀子
理 事	相模原市議会議員	岡 本 浩 三
理 事	厚木市議会議員	川 口 仁
理 事	厚木市議会議員	栗 山 香代子
理 事	厚木市議会議員	井 上 敏 夫
理 事	愛川町議会議員	阿 部 隆 之
会 計	相模原市議会議員	西 家 克 己
監 査	相模原市議会議員	小 野 弘
監 査	厚木市議会議員	石 井 芳 隆
事務局長	相模原市議会議員	渡 部 俊 明
事務局	町田市議会議員	三遊亭 らん丈
事務局	厚木市議会副議長	井 上 武
事務局	愛川町議会議員	井 出 一 己
事務局	清川村議会議員	藤 田 義 友

令和2年度 活動計画 (案)

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則に基づき、次の活動を行う。

実施時期	活動内容
4月9日(木) 午後4時00分から	第1回役員会
—	総会 【書面審議】
8～10月	第2回役員会
8月～12月	要望活動 (国、都県、鉄道事業者)
3月下旬	第3回役員会

※予算の都合が付く場合は研修会等を企画する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則 (抄)

(事業)

第3条

- 1 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携を行う。
- 2 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動を行う。
- 3 広報活動その他目的達成に必要な事業を行う。

令和2年度 収支予算 (案)

1 収入

(単位:円)

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減額 (A-B)	摘要
1 会費	246,000	242,000	4,000	2,000円×123人
2 繰越金	45,462	87,051	△41,589	
3 諸収入	538	949	△411	
計	292,000	330,000	△38,000	

2 支出

(単位:円)

科目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増減額 (A-B)	摘要
1 事業推進費	260,000	300,000	△40,000	
(1) 会議費	110,000	100,000	10,000	総会、及び役員会 経費等
(2) 活動費	150,000	200,000	△50,000	要望活動費
2 事務費	25,000	25,000	0	事務用品費等
3 予備費	7,000	5,000	2,000	
計	292,000	330,000	△38,000	

決 議 (案)

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されている。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識している。

愛川・厚木方面への延伸について、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ、検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要である。

また、延伸の意義と同時に収支採算性等の課題が示されたことから、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの沿線において、需要の創出に繋がる開発を積極的に推進していく必要がある。

延伸の早期実現に向け、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められていることから、本議員連盟としても一日も早い延伸の実現に向け、最大限の支援を行うとともに、今後も引き続き、関係機関に積極的に働きかけるなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な活動を展開することを決意するものである。

以上、決議する。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書 (案)

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、【要望先】を初めとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への一日も早い延伸の実現に向け、特段の御配慮・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書（案）

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を經由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関東運輸局を初めとする関係者の皆様とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への一日も早い延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

小田急多摩線延伸の早期実現に関する要望書（案）

平素から、公共交通網の整備や地域の発展につきましては、格別の御高配を賜り、心から感謝申し上げます。

小田急多摩線の延伸は、広域交通ネットワークの充実に資することはもとより、首都圏南西部における広域交流拠点の形成のため極めて重要な役割を担うものであり、小田急線唐木田駅からJR横浜線相模原駅、JR相模線上溝駅、更には相模原市田名地区を経由し、愛川・厚木方面への延伸が期待されております。

交通政策審議会答申第198号においては、本議員連盟の設立当初からの積極的な活動が実を結び、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトに選定されており、実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができたと認識しております。また、愛川・厚木方面への延伸については、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされていることから、まずは上溝駅までの整備を着実に実現させることが重要であります。

延伸の意義と同時に示された収支採算性等の課題を解決するため、町田市、相模原市が中心となり、関係者とともに検討の深度化が進められておりますが、本議員連盟としても、新駅が想定される町田市小山田周辺及び相模総合補給廠一部返還地などの延伸線沿線において、需要の創出に繋がる開発を推進するなど、会員の総意をもって一丸となり、より一層強力な取組を進めて参る所存でございます。

つきましては、地域住民の切実なる願いを叶えるべく、唐木田駅から上溝駅、そして愛川・厚木方面への一日も早い延伸の実現に向け、都市鉄道等利便増進法の事業スキームにおける黒字転換年数の緩和や補助財源の確保などの支援を講じていただきますようお願い申し上げます。

令和2年 月 日

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟
会長 中村 昌治

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会則

(名 称)

第1条 この会は、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」という。

(目 的)

第2条 この会は、関係市町村の議員の連携により、小田急多摩線の延伸を促進し、もって近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 小田急多摩線延伸事業の促進運動に関する情報交換と連携
- (2) 国都県及び関係機関に対する積極的な要望活動
- (3) 広報活動その他目的達成に必要な事業

(組 織)

第4条 この会は、第2条の目的に賛同する関係市町村の議会議員をもって構成する。

(役 員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 会長代行 1名
- (3) 副会長 5名
- (4) 理 事 若干名
- (5) 会 計 1名
- (6) 監 査 2名
- (7) 事務局長 1名
- (8) 事務局 4名

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その職務は後任者の就任のときまで行うものとする。また、役員任期において選任に変更があった場合は、その任期は前任者等の残任期間とする。

3 会長は、会務を総括する。

4 会長代行は、会長が欠けたとき、会長に事故があるとき、又は会長の命を受けたときは、その職務を代行する。

5 副会長は、会長を補佐する。

6 監査は、この会の会計を監査する。

7 事務局長は、会務を掌理する。

8 事務局は、事務局長を補佐する。

(顧問、参与及び相談役)

第6条 この会に顧問、参与及び相談役を置くことができる。

(事務局)

第7条 この会に事務局を置く。

2 事務局は、会長の市町村に置く。

3 事務局は、第3条に規定する事業の企画、立案等に関する事務を処理する。

(経費)

第8条 この会の経費は、会費その他の収入をもって充てる。

2 会費は年額 2,000 円とする。ただし、会長が必要と認める際は、増額することができる。

3 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

但し、平成21年度においては、平成21年11月4日より翌年3月31日までとする。

(補則)

第9条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別途協議して定める。

(附則)

この会則は、平成21年11月4日から施行する。

(附則)

この会則は、平成22年5月27日から施行する。

(附則)

この会則は、平成24年5月23日から施行する。

(附則)

この会則は、平成26年5月15日から施行する。

(附則)

この会則は、平成28年5月27日から施行する。

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 顧問・参与名簿

No.	役職	職名	氏名	会派
1	顧問	衆議院議員	小倉 將信	自由民主党
2	顧問	衆議院議員	赤間 二郎	自由民主党
3	顧問	法務副大臣 衆議院議員	義家 弘介	自由民主党
4	顧問	衆議院議員	後藤 祐一	立憲民主・国民・社保 ・無所属フォーラム
5	顧問	衆議院議員	伊藤 俊輔	立憲民主・国民・社保 ・無所属フォーラム
6	顧問	参議院議員	小川 敏夫	無所属
7	顧問	参議院議員	中川 雅治	自由民主党
8	顧問	参議院議員	朝日 健太郎	自由民主党
9	顧問	参議院議員	松沢 成文	日本維新の会
10	顧問	参議院議員	牧山 ひろえ	立憲・国民、新緑風会・社民
11	顧問	参議院議員	真山 勇一	立憲・国民、新緑風会・社民
12	顧問	参議院議員	三原 じゅん子	自由民主党
13	顧問	参議院議員	中西 健治	自由民主党
14	顧問	参議院議員	島村 大	自由民主党
15	顧問	文部科学大臣政務官 参議院議員	佐々木 さやか	公明党
16	顧問	参議院議員	三浦 信祐	公明党
17	顧問	参議院議員	竹内 真二	公明党
18	参与	東京都議会議長	石川 良一	都民ファーストの会 東京都議団
19	参与	東京都議会議員	小磯 善彦	都議会公明党
20	参与	東京都議会議員	吉原 修	東京都議会自由民主党
21	参与	東京都議会議員	斉藤 れいな	無所属 東京みらい
22	参与	東京都議会議員	奥澤 高広	無所属 東京みらい
23	参与	神奈川県議会議員	堀江 則之	自由民主党神奈川県議会議員団
24	参与	神奈川県議会議員	佐々木 正行	公明党神奈川県議会議員団
25	参与	神奈川県議会議員	長友 克洋	かながわ県民・民主フォーラム 神奈川県議会議員団
26	参与	神奈川県議会議員	寺崎 雄介	立憲民主党・民権クラブ 神奈川県議会議員団
27	参与	神奈川県議会議員	河本文 雄	自由民主党神奈川県議会議員団
28	参与	神奈川県議会議員	細谷 政幸	自由民主党神奈川県議会議員団
29	参与	神奈川県議会議員	佐藤 知一	県政会神奈川県議会議員団
30	参与	神奈川県議会議員	山口 貴裕	自由民主党神奈川県議会議員団
31	参与	神奈川県議会議員	京島 圭子	かながわ県民・民主フォーラム 神奈川県議会議員団
32	参与	神奈川県議会議員	小林 大介	立憲民主党・民権クラブ 神奈川県議会議員団
33	参与	神奈川県議会議員	山口 美津夫	自由民主党神奈川県議会議員団
34	参与	神奈川県議会議員	佐藤 圭介	かながわ県民・民主フォーラム 神奈川県議会議員団

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	職名	氏名	会派
1	町田市議会議長	熊沢礼里	自由民主党
2	町田市議会副議長	奥栄一	公明党
3	町田市議会議員	大西宣也	保守の会
4	町田市議会議員	吉田勉	保守の会
5	町田市議会議員	長村敏明	自由民主党
6	町田市議会議員	佐藤伸一郎	自由民主党
7	町田市議会議員	藤田学	自由民主党
8	町田市議会議員	若林章喜	自由民主党
9	町田市議会議員	新井克尚	諸派
10	町田市議会議員	三遊亭らん丈	自由民主党
11	町田市議会議員	岩瀬和子	自由民主党
12	町田市議会議員	山下哲也	公明党
13	町田市議会議員	戸塚正人	まちだ市民クラブ
14	町田市議会議員	松岡みゆき	自由民主党
15	町田市議会議員	佐藤和彦	まちだ市民クラブ
16	町田市議会議員	渡辺徹太郎	自由民主党
17	町田市議会議員	白川哲也	保守の会
18	町田市議会議員	森本誠也	まちだ市民クラブ
19	町田市議会議員	石川好忠	自由民主党
20	町田市議会議員	智田伸也	まちだ市民クラブ
21	町田市議会議員	松葉祐巳	公明党
22	町田市議会議員	木目田英男	自由民主党
23	町田市議会議員	小関重太郎	保守の会
24	町田市議会議員	深沢宏文	保守の会
25	町田市議会議員	斉藤勝広	公明党
26	町田市議会議員	星大輔	自由民主党
27	相模原市議会議長	石川将誠	自由民主党相模原市議団
28	相模原市議会副議長	森繁之	市民民主クラブ
29	相模原市議会議員	金子豊貴男	市民民主クラブ
30	相模原市議会議員	松永千賀子	日本共産党相模原市議団
31	相模原市議会議員	加藤明德	公明党相模原市議団
32	相模原市議会議員	須田毅	自由民主党相模原市議団
33	相模原市議会議員	大沢洋子	市民民主クラブ
34	相模原市議会議員	中村昌治	自由民主党相模原市議団
35	相模原市議会議員	阿部善博	自由民主党相模原市議団
36	相模原市議会議員	長谷川くみ子	颯爽の会
37	相模原市議会議員	小野沢耕一	自由民主党相模原市議団
38	相模原市議会議員	栗原大	市民民主クラブ
39	相模原市議会議員	寺田弘子	自由民主党相模原市議団
40	相模原市議会議員	野元好美	颯爽の会
41	相模原市議会議員	古内明	自由民主党相模原市議団
42	相模原市議会議員	小池義和	市民民主クラブ

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	職名	氏名	会派
43	相模原市議会議員	桜井 はるな	市民民主クラブ
44	相模原市議会議員	小野 弘	自由民主党相模原市議団
45	相模原市議会議員	大崎 秀治	公明党相模原市議団
46	相模原市議会議員	久保田 浩孝	公明党相模原市議団
47	相模原市議会議員	西家 克己	公明党相模原市議団
48	相模原市議会議員	関根 雅吾郎	市民民主クラブ
49	相模原市議会議員	白井 貴彦	市民民主クラブ
50	相模原市議会議員	五十嵐 千代	颯爽の会
51	相模原市議会議員	鈴木 秀成	市民民主クラブ
52	相模原市議会議員	小田 貴久	市民民主クラブ
53	相模原市議会議員	大槻 和弘	自由民主党相模原市議団
54	相模原市議会議員	後田 博美	公明党相模原市議団
55	相模原市議会議員	渡部 俊明	自由民主党相模原市議団
56	相模原市議会議員	石川 達	市民民主クラブ
57	相模原市議会議員	南波 秀樹	公明党相模原市議団
58	相模原市議会議員	羽生田 学	日本共産党相模原市議団
59	相模原市議会議員	鈴木 晃地	無所属
60	相模原市議会議員	田所 健太郎	日本共産党相模原市議団
61	相模原市議会議員	服部 裕明	自由民主党相模原市議団
62	相模原市議会議員	佐藤 尚史	自由民主党相模原市議団
63	相模原市議会議員	布施 初子	自由民主党相模原市議団
64	相模原市議会議員	岡本 浩三	公明党相模原市議団
65	相模原市議会議員	秋本 仁	自由民主党相模原市議団
66	相模原市議会議員	大八木 聡	自由民主党相模原市議団
67	相模原市議会議員	中村 忠辰	公明党相模原市議団
68	相模原市議会議員	折笠 正治	自由民主党相模原市議団
69	相模原市議会議員	三須 城太郎	市民民主クラブ
70	相模原市議会議員	榎本 揚助	無所属
71	相模原市議会議員	今宮 祐貴	日本共産党相模原市議団
72	相模原市議会議員	仁科 なつ美	市民民主クラブ
73	厚木市議会議員	寺岡 まゆみ	公明党
74	厚木市議会副議長	井上 武	ネクストあつぎ
75	厚木市議会議員	松田 則康	あつぎみらい
76	厚木市議会議員	石井 芳隆	きずな
77	厚木市議会議員	田上 祥子	公明党
78	厚木市議会議員	川口 仁	公明党
79	厚木市議会議員	神子 雅人	ネクストあつぎ
80	厚木市議会議員	栗山 香代子	日本共産党
81	厚木市議会議員	名切 文梨	あつぎの会
82	厚木市議会議員	難波 達哉	ネクストあつぎ
83	厚木市議会議員	松本 樹影	きずな
84	厚木市議会議員	渡辺 貞雄	あつぎみらい

小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会員名簿

No.	職名	氏名	会派
85	厚木市議会議員	井上敏夫	あつぎの会
86	厚木市議会議員	遠藤浩一	公明党
87	厚木市議会議員	瀧口慎太郎	ネクストあつぎ
88	厚木市議会議員	新井啓司	きずな
89	厚木市議会議員	高橋豊	ネクストあつぎ
90	厚木市議会議員	田口孝男	ネクストあつぎ
91	厚木市議会議員	山崎由枝	公明党
92	厚木市議会議員	高橋知己	新政あつぎ
93	厚木市議会議員	望月真実	新政あつぎ
94	厚木市議会議員	三橋文男	ネクストあつぎ
95	厚木市議会議員	高村真和	新政あつぎ
96	厚木市議会議員	池田博英	日本共産党
97	厚木市議会議員	後藤由紀子	無所属
98	厚木市議会議員	奈良直史	ネクストあつぎ
99	愛川町議会議長	馬場司	あいかわの聲
100	愛川町議会副議長	井上博明	日本共産党愛川町議員団
101	愛川町議会議員	小島総一郎	無所属
102	愛川町議会議員	小林敬子	日本共産党愛川町議員団
103	愛川町議会議員	山中正樹	あいかわの聲
104	愛川町議会議員	井出一己	公明党
105	愛川町議会議員	佐藤茂	無所属
106	愛川町議会議員	渡辺基	あいかわの聲
107	愛川町議会議員	木下眞樹子	あいかわの聲
108	愛川町議会議員	佐藤りえ	公明党
109	愛川町議会議員	熊坂崇徳	あいかわの聲
110	愛川町議会議員	玉利優	あいかわの聲
111	愛川町議会議員	鈴木信一	日本共産党愛川町議員団
112	愛川町議会議員	岸上敦子	公明党
113	愛川町議会議員	阿部隆之	あいかわの聲
114	愛川町議会議員	茅孝之	あいかわの聲
115	清川村議会議長	岩澤敏雄	無所属
116	清川村議会副議長	細野洋一	無所属
117	清川村議会議員	藤田義友	日本共産党
118	清川村議会議員	川瀬正行	無所属
119	清川村議会議員	山本雅彦	無所属
120	清川村議会議員	笹原和織	無所属
121	清川村議会議員	山口進	無所属
122	清川村議会議員	城所英樹	無所属
123	清川村議会議員	細野賢一	無所属

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費	頁小計	29,220 円	備考
-----------	-----	----------	----

No. 35

領 収 書

東京都
2020年10月21日

町田市議会 保守の会 吉田 つとむ 様

¥29,000. -

第25回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘
日本青年館
TEL 03-6452-9012



39001

34002

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
02-09-0900835		通帳送金
記号	番号	
*****	*****	
取扱番号	お取引金額	
N116	*30,900	
	残高	
	*	

三井住友銀行
青山支店
普通 1310412
セイケイセミナー シツコウインカイ ダイヒ
ヨウ ヤマト
送金料金 *220円
振込予定日 02-09-09
マチタシキカイ ホシユノカイ ヨシタツトム

ここに貼る。

合計 29,220.19

ご利用いただきましてありがとうございました。
ゆうちよ銀行

住民主体の地方自治を進めるために

第25回 SEIKEI SEMINAR

清溪セミナー

2020年10月21日[水]～10月22日[木]

日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

1日目 10月21日[水]

13:00～15:00 講義 I

少子化対策～自治体からの検証・提言

講師：泉房穂氏(明石市長)



東京大学教育学部卒業後、NHKを経て弁護士登録、衆議院議員を経て社会福祉士資格取得。2011年5月現職。「こどもを核としたまちづくり」を掲げ市の人口をV字回復。



聞き手：小林美希氏(ジャーナリスト)

地方の少子化や人口減少が深刻さを増す中、明石市が取り組んできた子育て支援や保育士支援、待機児童問題の解消や子育て環境の改善など先進事例をお聞きし、次世代へ希望をつなぐための自治体運営を伺う。

15:20～17:40 講義 II-1

少子化、地方創生、地域社会の連携

講師：杉岡秀紀氏(福知山公立大学地域経営学部准教授)



専門は公共政策、地方自治。内閣官房行政改革推進本部事務局参事官付、京都府立大学公共政策学部講師を経て2016年から現職。

新型コロナウイルスの混乱が続く一方で、都市一極集中、通勤ラッシュ、大部屋方式、ハンコ文化、対面授業(会議)、選挙のあり方等、これまでの「常識」を根本から見つめ直す機会にもなっている。働き方のみならず副業・プロボノ・関係人口などを活用したポストコロナ時代の「私」から始まる公共と地域協働のあり方について伺う。

15:20～17:40 講義 II-2

住民自治組織が担う地域の未来 ～福知山市三和地域協議会の挑戦～

講師：岡部成幸氏(三和地域協議会事務局長)



京都府三和町役場入職。「自治体情報化共同事業」や「新市建設計画」策定等に従事。06年に福知山市に編入後、まちづくり推進課長などを歴任し、定年退職後現職に。

地域住民自治の仕組みを取り入れ、地域生活交通確保、移住・定住促進、地域振興イベント、福知山公立大学連携などに取り組む三和地域協議会の活動を報告。

※新型コロナウイルス感染状況を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。

2日目 10月22日[木]

9:00～11:00 講義 III

パネルディスカッション with コロナの時代を見据えて 「地方からの行政改革、議会改革」

パネリスト

中川智子氏
(宝塚市長) (予定)

パネリスト

ビアンキ・アンソニー氏
(犬山市議会前議長)



コーディネーター / コメンテーター
福岡政行先生(常任講師・東北福祉大学特任教授)

市民の声に聞き合い「命を大切に、支え合いのまち」を実現してきた宝塚市の取り組みや、議会の権限を最大限に機能させ、住民の役に立つ機関をめざして議会改革に取り組んできた犬山市の取り組みを伺い、住民との対話、議員同士の討議が「地方行政や議会の改革」に果たす役割を明らかにする。また、本セミナーの常任講師の福岡政行先生には、進行と合わせてコロナ時代の地方議会について提言をいただく。

11:15～12:30 講義 IV

新型コロナウイルス感染拡大と今後の地域経済 ～支えあいから再興へ～

講師：吉原毅氏(城南信用金庫顧問)



東日本大震災後、被災地支援を精力的に行うと同時に原発に頼らない安心できる社会を目指して「脱原発」を宣言。17年に全国組織「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」を創設。

新型コロナウイルス感染拡大が深刻な影響を及ぼす中、「人と人とを結び、地域を守る」との理念で地域経済と向き合ってきた経験や、未曾有の危機に直面する地域経済の再生に向けた提言を伺う。

12:30～13:50 昼食・全国情報交流会

14:00～15:15 講義 V

民主主義とメディア ～新型コロナ渦の中で～

講師：望月衣塑子氏(東京新聞記者)



東京地検特捜部、東京地裁・高裁担当などを経て、社会部遊軍記者として防衛省の武器輸出、軍学共同などをテーマに取材。17年から森友・加計問題取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続ける。

豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染拡大から始まったコロナ禍で、オリパラ開催に固執し続けた安倍政権は自粛要請への対応が遅れ、その後も、アベノマスクなど失策が続く。官邸の「守護神」と言われた黒川弘務・東京高検前検事長の定年延長は、違法状態で閣議決定するというウルトラCをやったのけたが、世論の強い反発を買い、検察庁法改正案は見送りに。賭けマージャン報道で黒川氏は辞任に追い込まれた。97万人の失業者が溢れる中、「火事場泥棒」的な政府の行為など、浮き上がってきた様々な安倍政権の問題に切り込む。

15:15～15:30 閉会式

議員同士の全国ネットワーク「清溪セミナー」に参加しませんか



白井 えり子 実行委員長 (愛知県日進市議会議員 7期、1991年から連続トップ当選)

清溪セミナーは平成9年度にスタートし、今年で25回目を迎えます。毎年、まちづくりや議会改革、地方財政など、住民主体の地方自治の推進に関わる旬のテーマについて、自ら学び、セミナー参加者や講師の先生方と交流を深めてきました。

第25回目の今年は、特別テーマとして「新型コロナ/命と経済」を設定しました。新型コロナウイルスの問題は、世界中の人々の「命」の問題だけでなく、世界中の「経済」の問題でもあり、もとより身近な地域・地方自治体の問題でもあります。

私たちは議員として、市民として、この問題にどう取り組み、どう乗り越え、どのようにこれからの新しい「ひと・まち・社会」を築いていくのか、その真価が問われています。今回も各分野でご活躍の講師の皆様をお迎えしました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第25回 清溪セミナー

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

日時：2020年10月21日[水]～10月22日[木]

会場：日本青年館ホテル 8F カンファレンスルーム (250㎡)

参加対象：地方議会議員等100名 限定

参加申込：下記の申し込書に記入し、FAXもしくはメールで下記までお送りください。受領後に請求書をFAXもしくはメールにてお送りいたします。また、公式ホームページの申込フォームからお申込みいただけます。
<https://nippon-seinenkan.or.jp/seinenkan/seikei-seminar/>



申込締切：2020年10月1日[木] 17:00 必着

参加経費：参加費(会場費・資料代等) 29,000円(税込)

22日 昼食・情報交換会(飲み物付) 1,900円(税込) ※希望者のみ

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約またはホテルパックで利用できます。ご手配は各自でお願いいたします。
<https://nippon-seinenkan.or.jp/>



昨年(2019年)の清溪セミナーから



日本青年館ホテル
 〒160-0013
 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

- 東京メトロ銀座線
外苑前駅 3番出口
徒歩 5分
- 都営大江戸線
国立競技場駅 A2番出口
徒歩 10分
- 中央・総武線(各停)
千駄ヶ谷駅 信濃町駅
徒歩 12分

事務局

一般財団法人日本青年館公益事業部

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

渋谷 / 田中 / 小森

TEL 03-6452-9012 (平日9時～18時)

FAX 03-6452-9016

MAIL seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

オンライン受講について

本年度は希望される方にオンライン受講も予定しています。通常の参加者100名に加え、会場にお越し頂けない場合にはセミナー当日に限りライブ配信を行い、講義をご覧いただけます。希望される方は下記申込書の指定欄に○印を記入してください。

◆オンライン受講の参加費 お一人様 24,000円(税込)

申込みが完了し参加費納入が確認されたオンライン参加者あてに、メールにてアドレス等を発行いたします。詳細はオンライン参加を申し込まれた方にお知らせいたします。

申込記入欄

※オンライン参加の方はこちらに○印()

所属 (議会名・会派名等)	(議員以外の方は勤務先をご記入ください)		
ふりがな 名前	携帯電話		
	FAX		
住所	〒		
MAIL	(事務局からの連絡に使用します。オンライン参加の方は必ず記入してください)		
領収書の要・不要	不要・必要 ▶ 議会名・会派名・名前・その他 ()		

22日の昼食情報交換会(税込1,900円)

申し込みます ・ 申し込みません

FAX: 03-6452-9016

領 収 書 等 貼 付 用 紙

研修・研究・会議費

頁小計

29,000 円

備考

No. 19

領 収 書

東京都

2020年10月21日

町田市議会保守の会様

¥29,000. —

第25回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘

日本青年館

TEL 03-6452-9012



~~54001~~

64001

住民主体の地方自治を進めるために

第25回 SEIKEI SEMINAR

清溪セミナー

2020年10月21日[水]～10月22日[木]

日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

1日目 10月21日[水]

13:00～15:00 講義 I

少子化対策～自治体からの検証・提言

講師：泉房穂氏(明石市長)



東京大学教育学部卒業後、NHKを経て弁護士登録、衆議院議員を経て社会福祉士資格取得。2011年5月現職。「子どもを核としたまちづくり」を掲げ市の人口をV字回復。



聞き手：小林美希氏(ジャーナリスト)

地方の少子化や人口減少が深刻さを増す中、明石市が取り組んできた子育て支援や保育士支援、待機児童問題の解消や子育て環境の改善など先進事例をお聞きし、次世代へ希望をつなぐための自治体運営を伺う。

15:20～17:40 講義 II-1

少子化、地方創生、地域社会の連携

講師：杉岡秀紀氏(福知山公立大学地域経営学部准教授)



専門は公共政策、地方自治。内閣官房行政改革推進本部事務局参事官付、京都府立大学公共政策学部講師を経て2016年から現職。

新型コロナウイルスの混乱が続く一方で、都市一極集中、通勤ラッシュ、大部屋方式、ハンコ文化、対面授業(会議)、選挙のあり方等、これまでの「常識」を根本から見つめ直す機会にもなっている。働き方のみならず副業・プロボノ・関係人口などを活用したポストコロナ時代の「私」から始まる公共と地域協働のあり方について伺う。

15:20～17:40 講義 II-2

住民自治組織が担う地域の未来 ～福知山市三和地域協議会の挑戦～

講師：岡部成幸氏(三和地域協議会事務局長)



京都府三和町役場入職。「自治体情報化共同事業」や「新市建設計画」策定等に従事。06年に福知山市に編入後、まちづくり推進課長などを歴任し、定年退職後現職に。

地域住民自治の仕組みを取り入れ、地域生活交通確保、移住・定住促進、地域振興イベント、福知山公立大学連携などに取り組む三和地域協議会の活動を報告。

※新型コロナウイルス感染状況を含めた社会情勢および主催者の都合によりプログラムが変更となる場合がございます。

2日目 10月22日[木]

9:00～11:00 講義 III

パネルディスカッション with コロナの時代を見据えて 「地方からの行政改革、議会改革」

パネリスト

中川智子氏
(宝塚市長) (予定)

パネリスト

ビアンキ・アンソニー氏
(犬山市議会前議長)



コーディネーター / コメンテーター
福岡政行先生(常任講師・東北福祉大学特任教授)

市民の声に向き合い「命を大切に、支え合いのまち」を実現してきた宝塚市の取り組みや、議会の権限を最大限に機能させ、住民の役に立つ機関をめざして議会改革に取り組んできた犬山市の取り組みを伺い、住民との対話、議員同士の討議が「地方行政や議会の改革」に果たす役割を明らかにする。また、本セミナーの常任講師の福岡政行先生には、進行と合わせてコロナ時代の地方議会について提言をいただく。

11:15～12:30 講義 IV

新型コロナ感染拡大と今後の地域経済 ～支えあいから再興へ～

講師：吉原毅氏(城南信用金庫顧問)



東日本大震災後、被災地支援を精力的に行うと同時に原発に頼らない安心できる社会を目指して「脱原発」を宣言。17年に全国組織「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」を創設。

新型コロナウイルス感染拡大が深刻な影響を及ぼす中、「人と人とを結び、地域を守る」との理念で地域経済と向き合ってきた経験や、未曾有の危機に直面する地域経済の再生に向けた提言を伺う。

12:30～13:50 昼食・全国情報交換会

14:00～15:15 講義 V

民主主義とメディア ～新型コロナ渦の中で～

講師：望月衣塑子氏(東京新聞記者)



東京地検特捜部、東京地裁・高裁担当などを経て、社会部遊軍記者として防衛省の武器輸出、軍事共同などをテーマに取材。17年から森友・加計問題取材チームの一員となり、取材をしながら官房長官会見で質問し続ける。

豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染拡大から始まったコロナ禍で、オリパラ開催に固執し続けた安倍政権は自粛要請への対応が遅れ、その後も、アベノマスクなど失策が続く。官邸の「守護神」と言われた黒川弘務・東京高検前検事長の定年延長は、違法状態で閣議決定するというウルトラCをやったのけたが、世論の強い反発を買い、検察庁法改正案は見送りに。賭けマージャン報道で黒川氏は辞任に追い込まれた。97万人の失業者が溢れる中、「火事場泥棒」的な政府の行為など、浮き上がった様々な安倍政権の問題に切り込む。

15:15～15:30 閉会式

議員同士の全国ネットワーク「清溪セミナー」に参加しませんか



白井 えり子 実行委員長 (愛知県日進市議会議員7期、1991年から連続トップ当選)

清溪セミナーは平成9年度にスタートし、今年で25回目を迎えます。毎年、まちづくりや議会改革、地方財政など、住民の地方自治の推進に関わる旬のテーマについて、自ら学び、セミナー参加者や講師の先生方と交流を深めてきました。第25回目の今年も、特別テーマとして「新型コロナ / 命と経済」を設定しました。新型コロナウイルスの問題は、世界中の人の「命」の問題だけでなく、世界中の「経済」の問題でもあり、もとより身近な地域・地方自治体の問題でもあります。私たちは議員として、市民として、この問題にどう取り組み、どう乗り越え、どのようにこれからの新しい「ひと・まち・社会」を築いていくのか、その真価が問われています。今回も各分野でご活躍の講師の皆様をお迎えしました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第25回 清溪セミナー

主催：清溪セミナー実行委員会 共催：一般財団法人日本青年館

日時：2020年10月21日[水]～10月22日[木]

会場：日本青年館ホテル 8F カンファレンスルーム (250㎡)

参加対象：地方議会議員等100名 限定

参加申込：下記の申込書に記入し、FAXもしくはメールで下記までお送りください。受領後に請求書をFAXもしくはメールにてお送りいたします。また、公式ホームページの申込フォームからお申込みいただけます。 <https://nippon-seinenkan.or.jp/seinenkan/seikei-seminar/>



申込締切：2020年10月1日[木] 17:00 必着

参加経費：参加費 (会場費・資料代等) 29,000円 (税込)

22日 昼食・情報交換会 (飲み物付) 1,900円 (税込) ※希望者のみ

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約またはホテルパックで利用できます。ご手配は各自でお願いいたします。 <https://nippon-seinenkan.or.jp/>



昨年の清溪セミナーから



日本青年館ホテル
〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

- 東京メトロ銀座線
外苑前駅3番出口
徒歩 5分
- 都営大江戸線
国立競技場駅 A2 番出口
徒歩 10分
- 中央・総武線 (各停)
千駄ヶ谷駅 信濃町駅
徒歩 12分

事務局

一般財団法人日本青年館公益事業部

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1

渋谷 / 田中 / 小森

TEL 03-6452-9012 (平日9時～18時)

FAX 03-6452-9016

MAIL seikei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

オンライン受講について

本年度は希望される方にオンライン受講も予定しています。通常の参加者100名に加え、会場にお越し頂けない場合にはセミナー当日に限りライブ配信を行い、講義をご覧いただけます。希望される方は下記申込書の指定欄に○印を記入してください。

◆ オンライン受講の参加費 お一人様 24,000円 (税込)

申込みが完了し参加費納入が確認されたオンライン参加者あてに、メールにてアドレス等を発行いたします。詳細はオンライン参加を申し込まれた方にお知らせいたします。

申込記入欄

※オンライン参加の方はこちらに○印 ()

所属 (議会名・会派名等)	《議員以外の方は勤務先をご記入ください》		
ふりがな 名前	携帯電話		
	FAX		
住所	〒		
MAIL	(事務局からの連絡に使用します。オンライン参加の方は必ず記入してください)		
領収書の要・不要	不要・必要 ▶ 議会名・会派名・名前・その他 ()		

22日の昼食情報交換会 (税込1,900円)

申し込みます ・ 申し込みません

FAX: 03-6452-9016